

# リスニング教材準備は Mac と CasualTranscriber で！

今尾 康裕（大阪大学）

キーワード： Mac, リスニング教材作成, 音声・映像メディア

Mac 用音声書き起こし補助アプリケーション CasualTranscriber は、いわゆる文字起こし (transcription) 作業を補助する目的で開発しました。アプリケーションを切り替えることなく、キーボードショートカットでメディアファイル进行操作しながら効率的に文字起こし作業を進めることができます。本セミナーでは、この CasualTranscriber を使って、映像・音声素材を書き起こすところから、主にリスニング用の教材にするまでを説明しながら、一緒に作業を進めていきます。

## 文字起こし作業

素材となるメディアファイル进行操作しながら、文字起こし作業を進めていきます。まずは、メディアファイルを読み込んだ上で、メディアファイル进行操作するショートカットの設定とエディタの設定から始めます。そして、タイムスタンプの挿入とその利用方法、簡易波形イメージの設定方法を説明し、実際に文字起こし作業を行います。

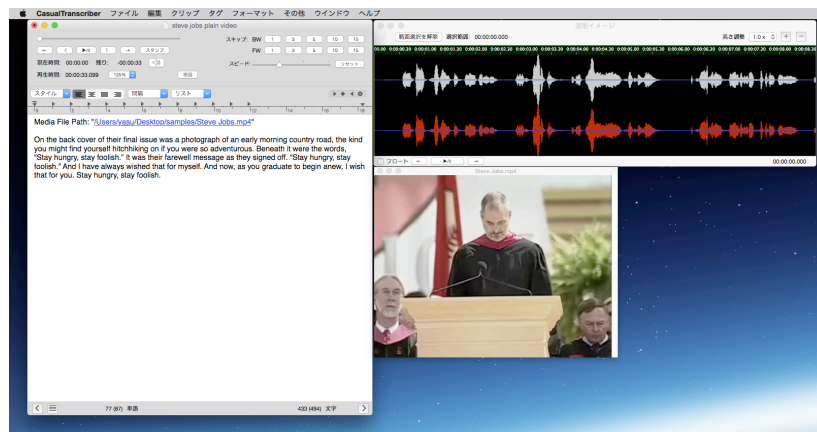


図 1. CasualTranscriber での文字起こし作業

## メディアファイルの扱い

メディアファイルはショートカットを使った再生操作だけでなく、音声のみの保存や、タイムスタンプと組み合わせることで、必要な部分の抜き出しやファイルを分割して保存、また、複数のファイルの結合などができます。あくまでも簡易的な機能なので複雑なことはできませんが、簡単に説明し操作を行っていきます。

## 字幕付きメディアファイルの作成

CasualTranscriber には、音声・映像ファイルに字幕を付けて保存する機能が付いているので、その手順を説明し、実際にメディアファイルに字幕を付けていきます。これには、書き起こしたテキストやあらかじめテキストが用意されている場合に、どのようにテキストを整形してタイムスタンプを挿入していくのかを説明しながら実行していきます。

